

CS

CODE AND SPECIFICATIONS SHEET

インテリジェント温度・圧力補正機能付差圧伝送器 EDR-N8C

EDR-N8C 温度・圧力補正機能付差圧伝送器は、半導体複合センサ、測温抵抗体入力回路とマイクロコンピュータを内蔵し、差圧のほか圧力、温度を同時に測定することができます。測定差圧に対応したDC4～20mA信号を出力するか、温度、圧力変化による密度補正を行い、質量流量に比例したDC4～20mA信号を出力するか選択することができます。

また、EDB500MA 複合変換器を使用することにより、差圧(流量)、圧力、温度を独立してアナログ出力することも可能です。

コミュニケータとの相互通信により、各種機能の設定、調整、出力モニタが可能です。



<増幅部形状：側面端子形>

<増幅部形状：正面端子形>

標準仕様

出力

出力信号:DC4～20mA

出力信号範囲:DC3.6～21.6mA (-2.5～110%) (最大)

出力モード:比例、開平(選択)

電源電圧

DC11.4～42.0V (詳細は図1参照)

注)コミュニケータ通信はコミュニケータ通信条件の項目参照。

許容負荷抵抗

0～1,200Ω (詳細は図1参照)

注)コミュニケータ通信はコミュニケータ通信条件の項目参照。

コミュニケータ通信条件

通信方式:日立専用通信

電源電圧:DC12.8～42.0V (詳細は図1参照)

許容負荷抵抗:50～1,200Ω (詳細は図1参照。250Ω以上推奨)

測定差圧範囲

レンジコード	測定スパン	レンジ設定範囲
800	0.5～8kPa	-8～8kPa
8000	2～80kPa	-80～80kPa

測定圧力範囲

測定スパン	レンジ設定範囲
0.2～5MPa abs.	0～5MPa abs.

測定温度範囲

測定スパン	レンジ設定範囲
50°C以上	-200～850°C

EDB500MA 複合変換器を使用して圧力、温度信号をそれぞれ出力する場合は、圧力範囲、温度範囲を設定してください。

温度入力

Pt100Ω または JPt100Ω (3線式)

最大使用圧力

5MPa abs. (負圧は図3参照)

使用湿度範囲

周囲温度範囲:-40～85°C

接液温度範囲:-40～120°C (詳細は図2参照)

使用湿度範囲

0～100%RH

保存湿度範囲

-40～85°C

保護等級

JIS C 0920 IP67

異常時のバーンアウト出力

出力モード:アップ、ダウン、なし(選択) (出荷時設定:なし)

出力信号範囲:アップ側…DC20.0～22.4mA (100～115%)

ダウン側…DC3.2～4.0mA (-5～0%)

精度

表 1-1～表 1-4 参照

温度特性

表 2-1～表 2-3 参照

圧力の影響

表 3 参照

応答時間

むだ時間 : 0.15s (最小値)

ダンピング時定数 : 0.1～102.4s (出荷時設定:0.2s)

受圧部時定数	レンジコード	受圧部時定数(25°Cのとき)
800		約 0.2s
8000		約 0.05s

注 1)応答時間=むだ時間+ダンピング時定数+受圧部時定数

注 2)圧力脈動には固定電気ダンパ(コード:Z25)、および導管へのキャビラリ(内径 1mm、長さ 1m 以上)設置を推奨します。

長期安定性

ゼロシフト: ±0.1%/1年(最大スパンのとき)
(レンジコード: 8000 で、材質コード: 標準、316L における基準動作条件(23±2°C、大気圧下)での変動量)

過大圧特性

ゼロシフト: ±0.5% (最大使用圧力印加時) (最大スパンのとき)

自己診断機能

故障診断: 半導体センサ、增幅部の故障および測温抵抗体接続異常を自己検知し、バーンアウト出力、および内蔵指示計エラー表示。
異常診断: 入力(差圧*)、圧力、温度(半導体センサ部) および外部取込温度(測温抵抗体)が仕様範囲を逸脱した際に内蔵指示計アラーム表示。
※: パラメータ設定必要

外部調整・設定機能

付属の外部調整・設定用マグネットで以下項目実施可能。

内蔵指示計なし: ゼロ点調整

内蔵指示計あり: ゼロ点調整、測定レンジの調整*および設定*、ダンピング時定数設定*

*: 機能の許可設定が必要(出荷時設定: ゼロ点調整のみ許可)

增幅部形状と取付け向き

增幅部形状は下記から選択(詳細は寸法図参照)

- ・側面端子形(コード: ST)
- ・正面端子形(コード: FT)

增幅部の取付け向きは下記から選択(詳細は寸法図参照)

- ・標準(コード指定なし)
- ・増幅部右 90° 回転(コード: (R))
- ・増幅部左 90° 回転(コード: (L))
- ・増幅部 180° 回転(コード: (U))

材質

接液部	ダイアフラム	: SUS316L
	本体	: SUS316L または相当品
	本体フランジ	: SCS14A(SUS316相当铸造品)
	本体フランジOリング	: EPDM
その他	本体フランジ締付ボルト	: SCM435
	増幅部ケース	: アルミニウム合金(ポリウレタン樹脂塗装)
	取付板	: SPCC(ポリウレタン樹脂塗装)
	U ボルト	: SUS304

封入液

シリコーンオイル

圧力導入口

下記を各々選択(コード表参照)

- ・導入口方向
- ・接続サイズ
- ・オーバルフランジ有無

接液条件

補正演算: OFF(指定のない場合の初期値)

補正演算を有効にする場合、下記 4 種から各々選択

(詳細はコード表参照)

- ・温度補正: TEMP()
- ・圧力補正: PRESS()
- ・温度・圧力補正: TP()
- ・飽和蒸気圧補正: STEAM()

配線接続口

G1/2 めねじ(2箇所)

サージアブソーバ

電源入力回路に内蔵

サージ耐量: 1,000A(8/20 μs)

衝撃試験電圧: 15,000V(1.2/50 μs)

チェック端子

側面端子形: DC4~20mA 電流输出(外部指示計接続端子出力)

正面端子形: DC40~200mV 電圧出力(専用端子出力)

(端子位置は外部接続図参照)

塗色

増幅部ケース: ライトグレー

質量

側面端子形: 約 4.0kg

正面端子形: 約 4.5kg

取付け

50A パイプ等へ U ボルト取付け

付属品

50A パイプ取付板、U ボルト …… 1 式

外部調整・設定用マグネット …… 1 個

付加仕様

通信方式

・HART®通信(コード: H)

防爆

・T1IS 防爆(コード: XC)

增幅部形状: 側面端子形(コード: ST)

防爆規格: Exd II CT4X(耐圧油入防爆構造)

使用可能場所: 第 1 類危険箇所、および第 2 類危険箇所

ケーブルグランド: X-EXRCA 形耐圧パッキン金具(使用必須)

(島田電機(株)製 EXPC-16B も使用可能)

使用温度範囲: 周囲温度範囲 …… -20~55°C

接液温度範囲 …… -20~100°C

使用条件: 内蔵指示計なしの場合は伝送器出力信号の振り

切れ(バーンアウト機能)を利用した警報表示システムの外部構築が必要。

增幅部形状: 正面端子形(コード: FT)

防爆規格: Exd II CT4Gb(耐圧防爆構造)

使用可能場所: ゾーン 1、およびゾーン 2

ケーブルグランド: X-SFRCA 形耐圧パッキン金具(使用必須)

使用温度範囲: 周囲温度範囲 …… -20~55°C

接液温度範囲 …… -20~100°C

・FM 防爆(コード: FM)

Explosionproof for Class I, Division 1, Groups B, C and D

Dust-ignitionproof for Class II / III, Division 1, Groups E, F and G

NEMA 4X, Temperature Class: T4

周囲温度範囲: -40~60°C, 配線接続口: 1/2NPT めねじ(2箇所)

注) コード: FM では、コード: ST のみ Factory sealed 対応

- ATEX 防爆(コード:ATEX)
 - 防爆規格: II 2G Ex db IIC T4 Gb
 - 使用可能場所:ゾーン 1、およびゾーン 2
 - 使用温度範囲:周囲温度 … -40~60°C
プロセス温度 … -40~120°C
 - 防爆記号: DEKRA 18ATEX0109 X
 - 注)コード:ATEX では、コード:FT とコード:M、MJ の同時選択不可。
- IEC-Ex 防爆(コード:IEC)
 - 防爆規格:Ex db IIC T4 Gb
 - 使用可能場所:ゾーン 1、およびゾーン 2
 - 使用温度範囲:周囲温度 … -40~60°C
プロセス温度 … -40~120°C
 - 防爆記号: IECEx DEK 18.0077X
 - 注)コード:IEC では、コード:FT とコード:M、MJ の同時選択不可。

内蔵指示計

- 内蔵指示計仕様
 - デジタル液晶表示計
 - 使用温度範囲:-20~85°C
 - 表示項目:差圧%、差圧値、差圧実目盛、静圧%、静圧値(選択)
流体温度%、流体温度値
(複数選択時は自動切替表示)(バーグラフ表示付き)
 - 表示モード:比例、開平(選択)
 - 実目盛表示範囲:最大 5 枠(-99,999~99,999)
 - 表示単位:圧力、流量、高さ(選択)、任意登録可能(最大 7 文字)
 - 異常表示:自己診断異常メッセージ表示
- 内蔵指示計付き(コード:M)
 - 出荷時設定:表示項目…差圧%(0.0~100.0%),
小数点下表示桁数…1 枠、表示モード…比例
- 内蔵指示計付き、実目盛表示(コード:MJ())
 - 出荷時設定:表示項目…差圧実目盛(コード括弧内指定の実目盛)
小数点下表示桁数…下表参照、表示モード…比例
(コード括弧内指定が流量単位のときは開平)

実目盛表示設定スパン	小数点下表示桁数
0.5 未満	4 枠
0.5 以上~ 5 未満	3 枠
5 以上~50 未満	2 枠
50 以上~500 未満	1 枠
500 以上	0 枠

内蔵指示計の取付け向きは下記から選定(詳細は寸法図参照)

- 標準(コード指定なし)
- 指示計右 90° 回転(コード: (R))
- 指示計左 90° 回転(コード: (L))
- 指示計 180° 回転(コード: (U))

注)コード: (U)とコード:FT は同時選択不可

接液部材質

コード	ダイアフラム	本体接液部	本体フランジ	本体フランジ O リング
-	SUS316L	SUS316L	SCS14A (SUS316相当)	EPDM、 FKM*、 PTFE から選択
316L	SUS316L	SUS316L	SCS16A (SUS316相当)	
HC316	ハステロイ C	SUS316L	SCS14A (SUS316相当)	
HC316L	ハステロイ C	SUS316L	SCS16A (SUS316L相当)	

*FKM は周囲温度範囲:-15~85°C、接液温度範囲:-15~120°C

注)材質は耐食性を考慮して選定してください。水素透過の発生が懸念される場合は、ダイアフラム金めっき(コード:Z52)、またはダイアフラム金めっき+水素吸蔵物質内蔵(コード:Z72)の選定を推奨します(水素透過を完全に防止するものではありません)。

ボルト・取付板材質

コード	本体フランジ 締付ボルト	取付板	U ボルト
-	SCM435	SPCC(ポリウレタン樹脂塗装) (上下取付用L形)	SUS304
SH660	SUH660 ^{※1}	SUS304 (上下取付用L形)	SUS304
F435 ^{※2}	SCM435	SUS304 (背面取付用フラット形)	SUS304
FSH660 ^{※2}	SUH660 ^{※1}	SUS304 (背面取付用フラット形)	SUS304

※1: SUH660 または相当品。

環境試験: 塩水噴霧試験(JIS Z2371) 2500 時間

※2: コード:Z31、Z32 の選択不可。

接液部禁油

- 禁油仕上げ(コード:NL)
- 禁油禁水仕上げ(コード:NLW)

リプレース用取付板

コード表参照

その他の付加仕様

Z コード表(別紙:CS・3253-995) 参照

圧力測定 (コード:Z71) (Z コード表参照:CS・3253-995)

測定方式:絶対圧測定

出力方式:EDB500MA 形複合変換器で DC1~5V 出力、および内蔵指示計表示。

測定スパン:0.5~5MPa abs.

精度: $\pm 0.2\%$ $X \geq 1\text{ MPa}$
 $\pm 0.2 \times (1/X)\%$ $X < 1\text{ MPa}$

温度特性:

ゼロシフト	$\pm [0.05 + (1.0 \times T/50)]\%$	$X \geq 2\text{ MPa}$
	$\pm [0.05 + (0.5 + 0.5 \times 2/X) \times T/50]\%$	$X < 2\text{ MPa}$
総合シフト	$\pm [0.05 + (2.5 \times T/50)]\%$	$X \geq 2\text{ MPa}$
	$\pm [0.05 + (2.0 + 0.5 \times 2/X) \times T/50]\%$	$X < 2\text{ MPa}$

表 1-1. 差圧精度

レンジコード	精度	
800	$\pm 0.2\%$	$X \geq 1\text{kPa}$
	$\pm [0.05 + (0.15 \times 1/X)]\%$	$X < 1\text{kPa}$
	または $\pm 1.96\text{Pa}$ の大きいほう	
8000	$\pm 0.075\%$	$X \geq 8\text{kPa}$
	$\pm [0.002 + (0.073 \times 8/X)]\%$	$X < 8\text{kPa}$

注1) 差圧精度は X に対するパーセントで、 X は LRV、URV の絶対値、または測定スパンの最も大きい値(kPa)。

LRV:0%(DC4mA)を出力させる入力差圧、

URV:100%(DC20mA)を出力させる入力差圧

注2) 開平出力のとき

ゼロカット指定ありのとき

出力 1.1%以下: $\pm (\text{リニア出力精度} \times 45)\%$

出力 1.1~50%: $\pm (\text{リニア出力精度} \times 50 / \text{開平出力})\%$

出力 50%以上: リニア出力と同じ

(カット点以下出力: ゼロ、任意直線、比例)

ゼロカット指定なしのとき

出力 20%以下: 0~20%点の直線

出力 20%以上: 上記のゼロカット指定ありの場合と同じ

表 1-2. 圧力精度

$\pm 0.1\%$	$X \geq 1\text{MPa abs.}$
$\pm [0.05 + (0.05 \times 1/X)]\%$	$X < 1\text{MPa abs.}$

注) 圧力精度は X に対するパーセントで、 X は LRV、URV の絶対値、

または測定スパンの最も大きい値(MPa abs.)

LRV:0%を出力させる入力圧力、

URV:100%を出力させる入力圧力

表 1-3. 溫度精度

$\pm 0.1\%$	$X \geq 100^\circ\text{C}$
$\pm [0.1 \times 100/X]\%$ または 0.1°C の大きいほう	$X < 100^\circ\text{C}$

注) 溫度精度は X に対するパーセントで、 X は LRV、URV の絶対値、

または測定スパンの最も大きい値(°C)

LRV:0%を出力させる入力温度、

URV:100%を出力させる入力温度

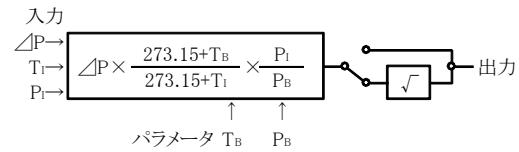
表 1-4. 補正演算後出力精度

補正演算種別	精度
温度・圧力補正	$\pm [0.05 + ((\text{差圧精度})^2 + (\text{圧力精度})^2 + (\text{温度精度})^2)^{1/2}] \%$
飽和蒸気圧補正	$\pm [0.05 + ((\text{差圧精度})^2 + (\text{圧力精度})^2)^{1/2}] \%$ ここで 測定圧密度補間精度= $0.003 / \rho_1 \times 100$ 基準圧密度補間精度= $0.003 / \rho_B \times 100$

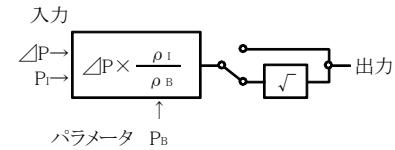
演算式

[仮想入力時]

温度・圧力補正

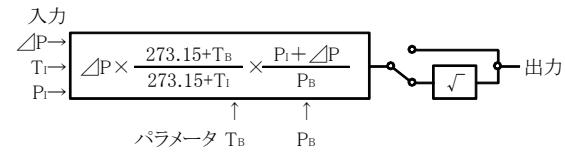


飽和蒸気圧補正

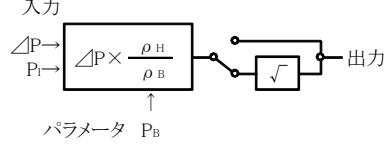


[実入力時]

温度・圧力補正



飽和蒸気圧補正



ここで、 ΔP : 測定差圧(kPa)

T_1 : 測定温度(°C)

P_1 : 測定圧力(MPa abs.)

T_B : 補正基準温度(°C)

P_B : 補正基準圧力(MPa abs.)

ρ_1 : 測定圧力 P_1 から求めた密度(kg/m³)

ρ_H : 測定圧力 + 測定差圧($P_1 + \Delta P$) から求めた密度(kg/m³)、

ρ_B : 基準圧力から求めた密度(kg/m³)

注) 飽和蒸気圧補正演算時、 ρ_1 / ρ_B , ρ_H / ρ_B は 2 倍まで有効で
それ以上は 2 に固定となります。

演算式は、コミュニケーションケータにより下記 4 種から選択設定することができます。

- ① 温度補正
- ② 圧力補正
- ③ 温度・圧力補正
- ④ 飽和蒸気圧報補正

表 2-1. 差圧の温度特性

レンジコード	温度特性 (-20~60°Cのとき)	
800	ゼロシフト $\pm [0.05 + (0.45 \times T/50)]\%$	$X \geq 3.2\text{kPa}$
	$\pm [0.05 + (0.25 + 0.2 \times 3.2/X) \times T/50]\%$	$X < 3.2\text{kPa}$
	総合シフト $\pm [0.05 + (0.75 \times T/50)]\%$	$X \geq 3.2\text{kPa}$
	$\pm [0.05 + (0.45 + 0.3 \times 3.2/X) \times T/50]\%$	$X < 3.2\text{kPa}$
8000	ゼロシフト $\pm [0.05 + (0.2 \times T/50)]\%$	$X \geq 32\text{kPa}$
	$\pm [0.05 + (0.1 + 0.1 \times 32/X) \times T/50]\%$	$X < 32\text{kPa}$
	総合シフト $\pm [0.05 + (0.45 \times T/50)]\%$	$X \geq 32\text{kPa}$
	$\pm [0.05 + (0.35 + 0.1 \times 32/X) \times T/50]\%$	$X < 32\text{kPa}$

注) 温度特性は X に対するパーセントで、X は LRV、URV の絶対値、

または測定スパンの最も大きい値(kPa)。

T は温度変化幅(°C)。

表 2-2. 圧力の温度特性

ゼロシフト	$\pm [0.05 + (0.2 \times T/50)]\%$	$X \geq 2\text{MPa abs.}$
	$\pm [0.05 + (0.1 + 0.1 \times 2/X) \times T/50]\%$	$X < 2\text{MPa abs.}$
総合シフト	$\pm [0.05 + (0.45 \times T/50)]\%$	$X \geq 2\text{MPa abs.}$
	$\pm [0.05 + (0.35 + 0.1 \times 2/X) \times T/50]\%$	$X < 2\text{MPa abs.}$

注) 温度特性は X に対するパーセントで、X は LRV、URV の絶対値、

または測定スパンの最も大きい値(MPa abs.)。

T は温度変化幅(°C)。

表 2-3. 温度の温度特性

$\pm [0.2 \times T/10]\%$	$X \geq 100^\circ\text{C}$
$\pm [(0.05 \times 15/X) \times T/10]$	$X < 100^\circ\text{C}$

注) 温度特性は X に対するパーセントで、X は LRV、URV の絶対値、

または測定スパンの最も大きい値(°C)。

T は温度変化幅(°C)。

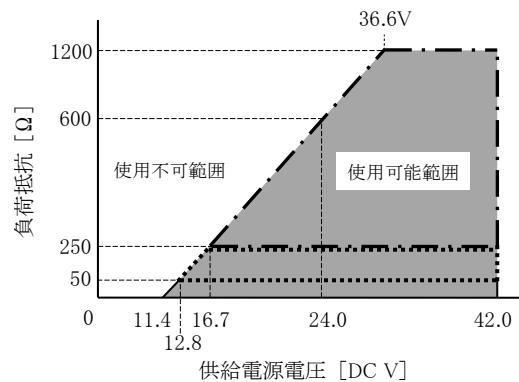
表 3. 圧力の影響

レンジコード	圧力影響 (25°Cのとき)	
800	ゼロシフト $\pm [0.05 + (0.1 \times 8/X \times P/5)]\%$	
8000	ゼロシフト $\pm [0.05 + (0.1 \times P/5)]\%$	$X \geq 40\text{kPa}$
	$\pm [0.05 + (0.1 \times 40/X) \times P/5]\%$	$X < 40\text{kPa}$
	総合シフト $\pm [0.05 + (0.3 + 0.1 \times 80/X) \times P/5]\%$	

注) 圧力影響は X に対するパーセントで、X は LRV、URV の絶対値、

または測定スパンの最も大きい値(kPa)。

P は圧力値(MPa)。



— : コミュニケータ通信可能範囲(250Ω通信モード)
 - - - : コミュニケータ通信可能範囲(50Ω通信モード*)
 ※: 50Ω通信モードは通信信号が大きい影響で出力信号が乱れる場合があるため 250Ω通信モードを推奨します。

図 1 供給電源電圧/負荷抵抗特性

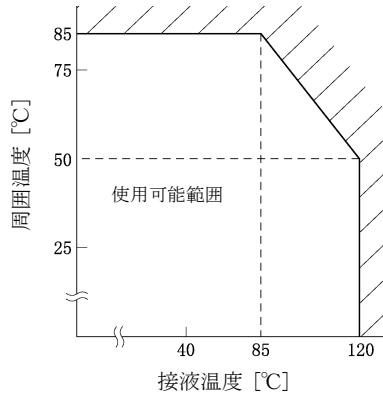


図 2 接液温度と周囲温度

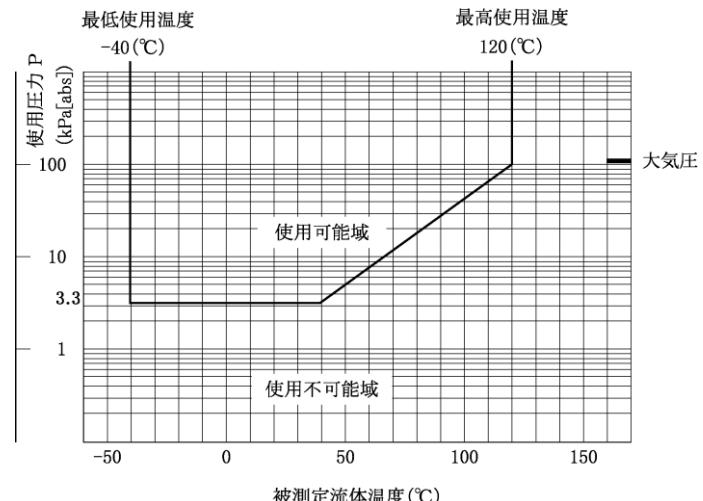
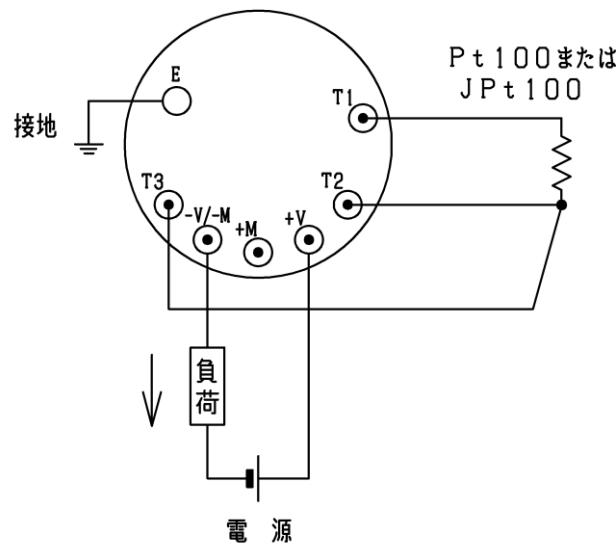


図 3 使用圧力と接液温度

外部接続図

増幅部形状:側面端子形の場合



注1) 接地はD種接地工事(接地抵抗100Ω以下)で実施。

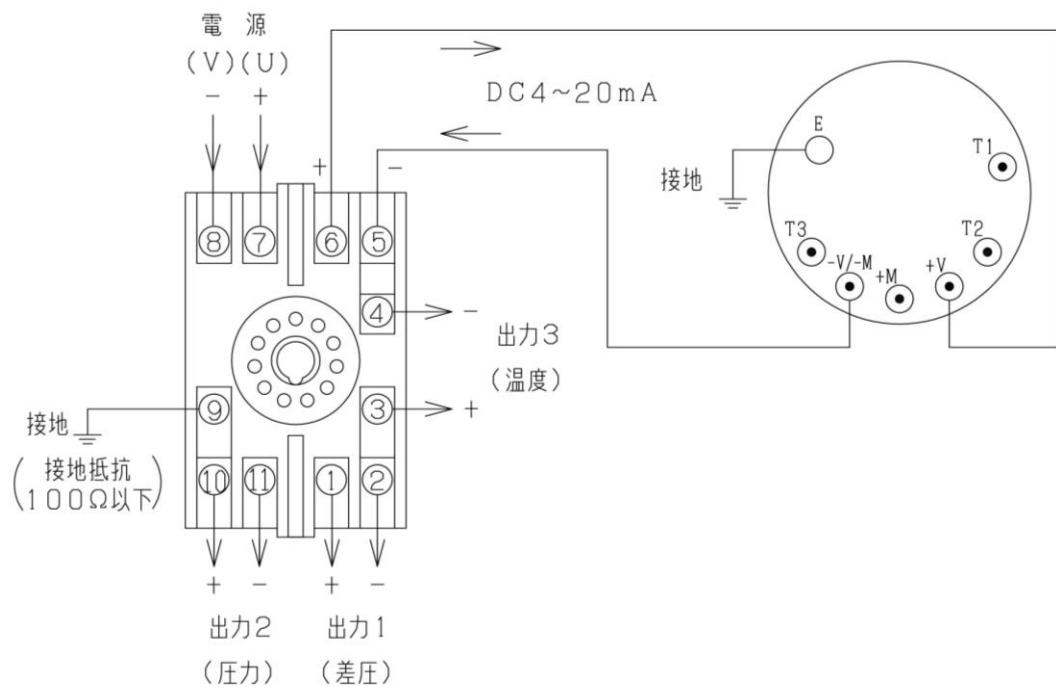
注2) 接地は伝送器側または受信計器側のどちらか一方で実施(2点接地にならないよう注意)。

注3) 伝送器の接地端子は増幅部ケースの内側と外側どちらか一方を使用。

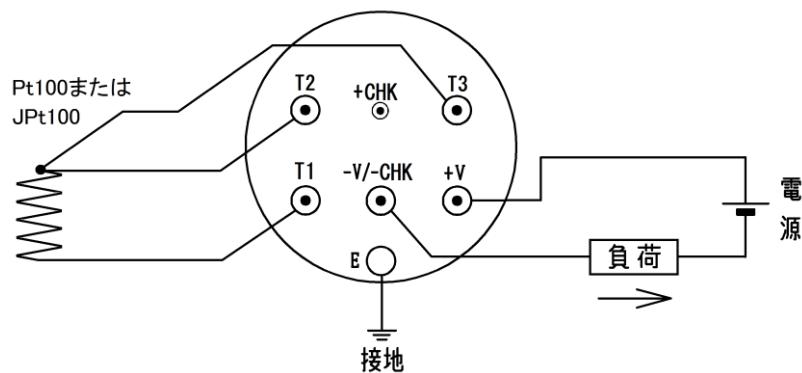
注4) 現場指示計は接続できません。

EDB500MA形複合変換器と接続する場合

EDB500MA形
複合変換器



増幅部形状:正面端子形の場合



注1) 接地は D 種接地工事(接地抵抗 100 Ω 以下)で実施。

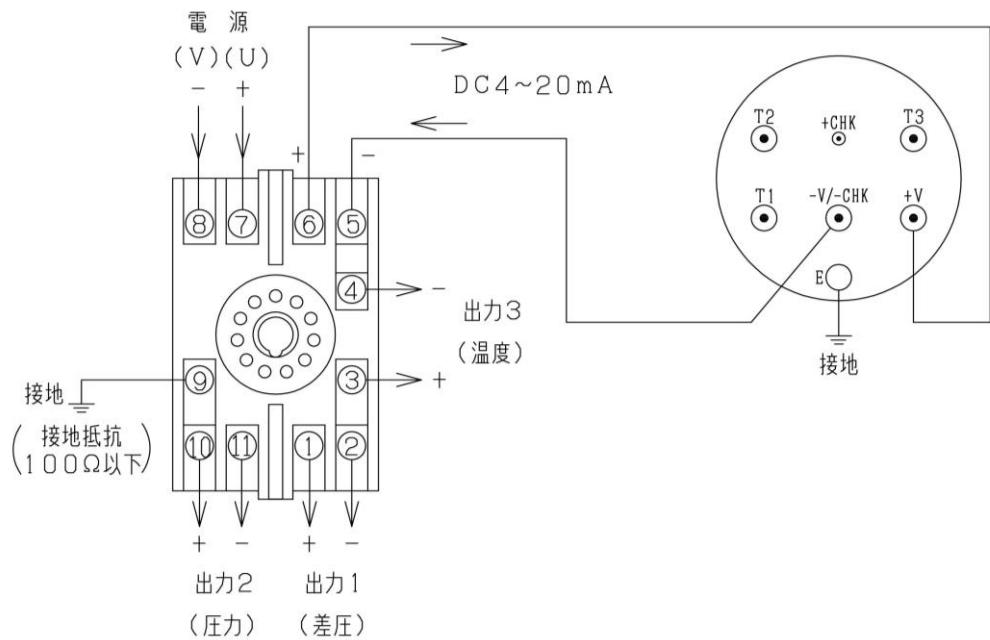
注2) 接地は伝送器側または受信計器側のどちらか一方で実施(2 点接地にならないよう注意)。

注3) 伝送器の接地端子は増幅部ケースの内側と外側どちらか一方を使用。

注4) 現場指示計は接続できません。

EDB500MA形複合変換器と接続する場合

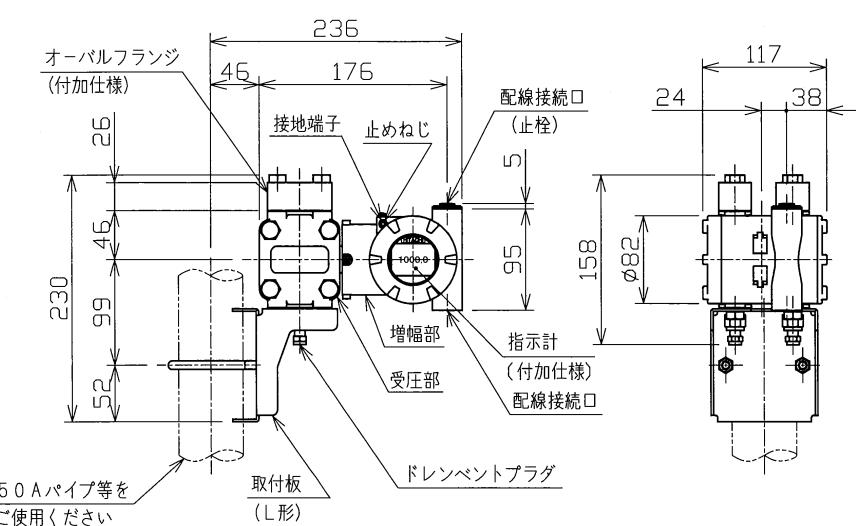
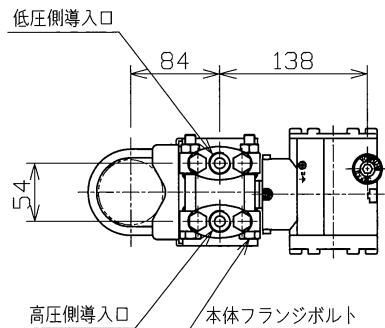
EDB500MA形
複合変換器



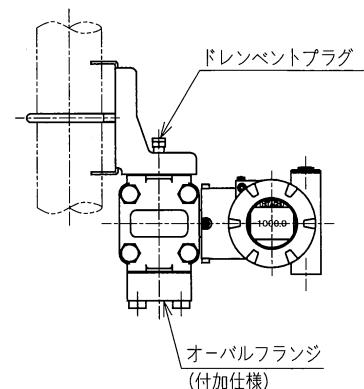
寸法図(単位:mm)

取付板:上下取付用 L 形(コード:指定なし、SH660)

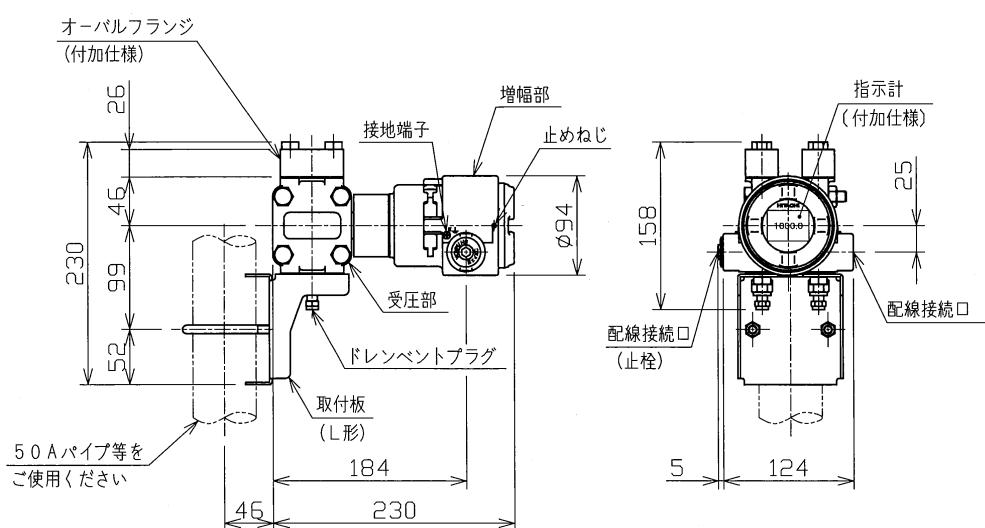
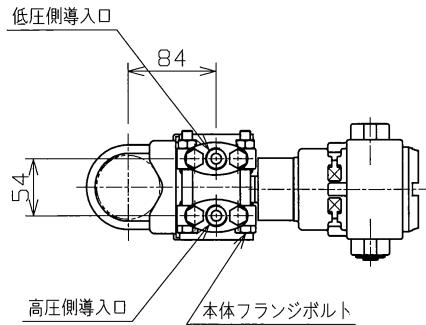
増幅部形状:側面端子形(コード:ST)



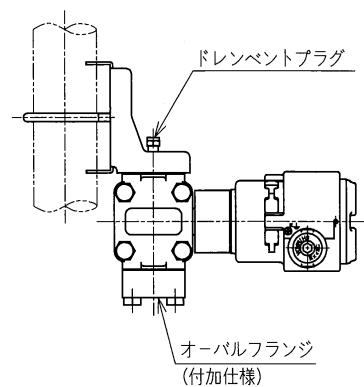
圧力導入口下側の場合



増幅部形状:正面端子形(コード:FT)

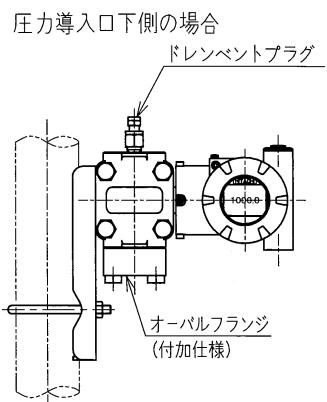
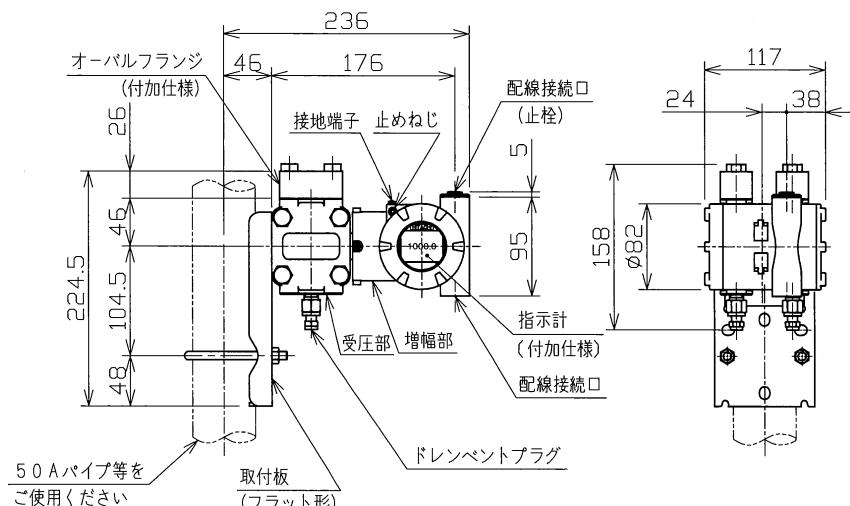
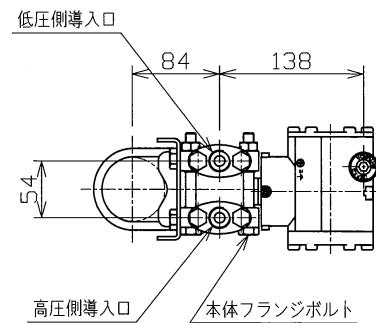


圧力導入口下側の場合

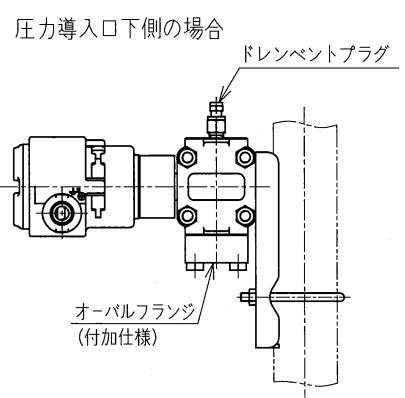
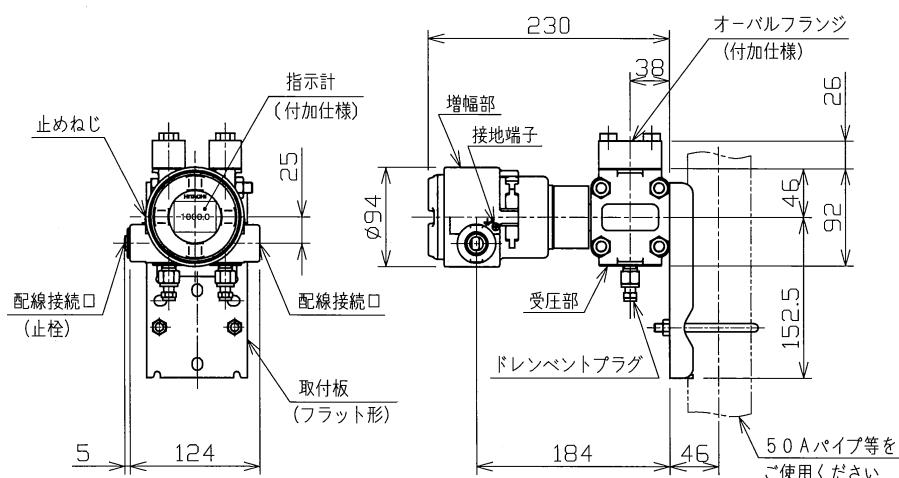
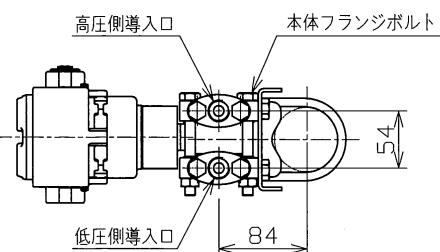


取付板:背面取付用フラット形(コード:F435、FSH660)

増幅部形状:侧面端子形(コード:ST)

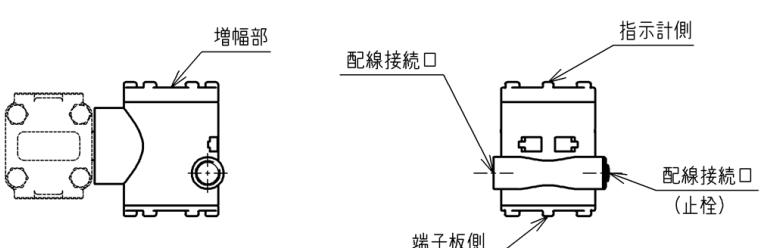
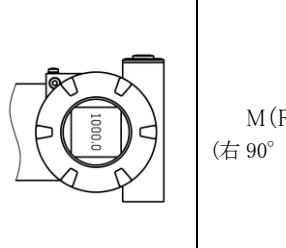
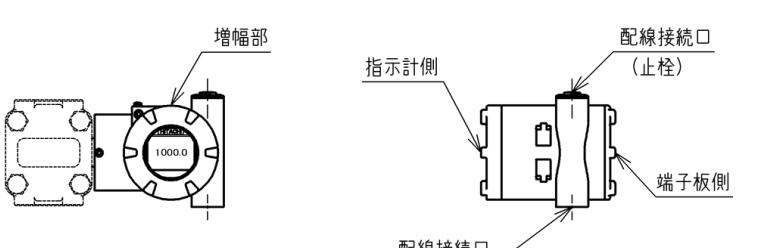
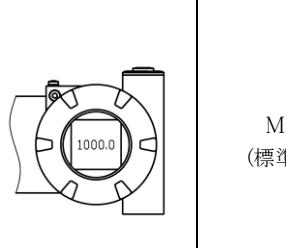
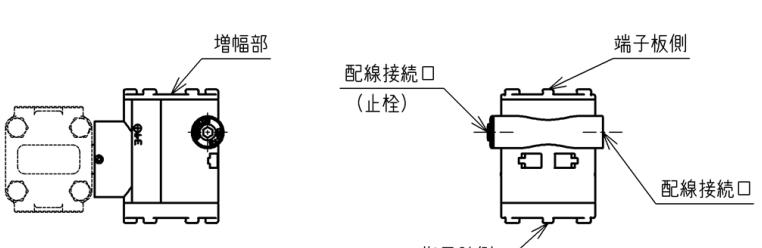
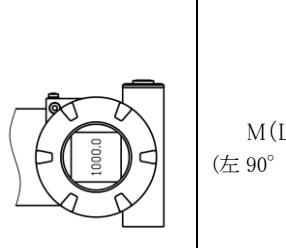
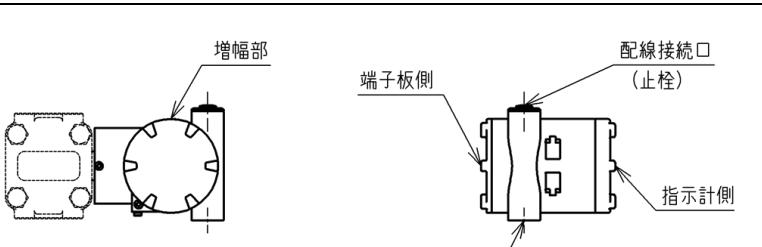
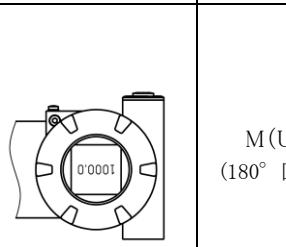


増幅部形状:正面端子形(コード:FT)



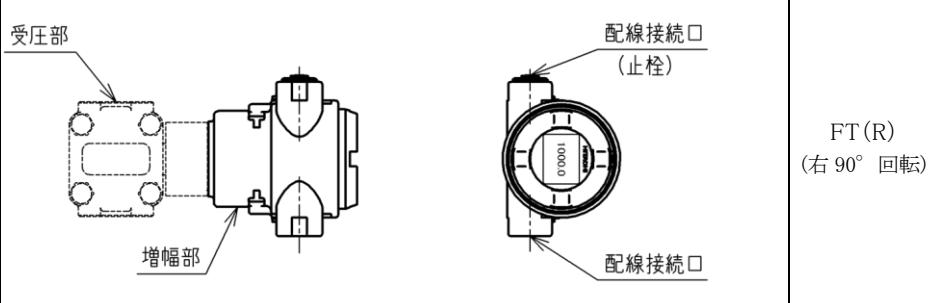
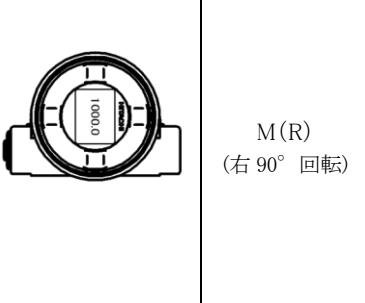
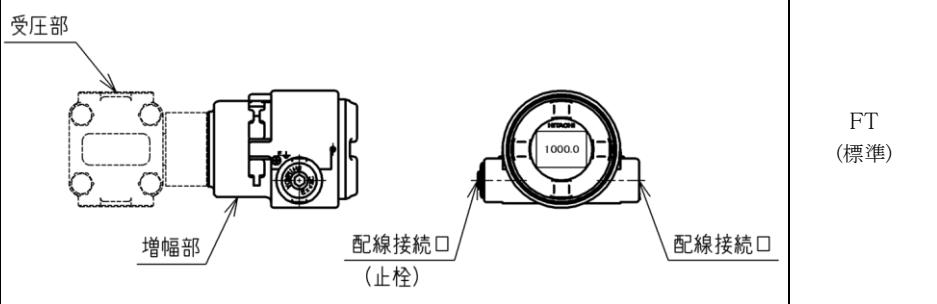
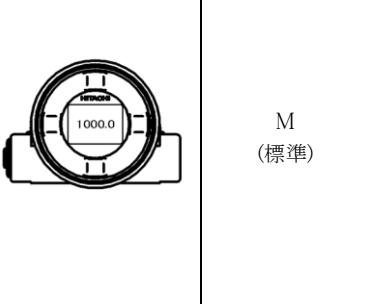
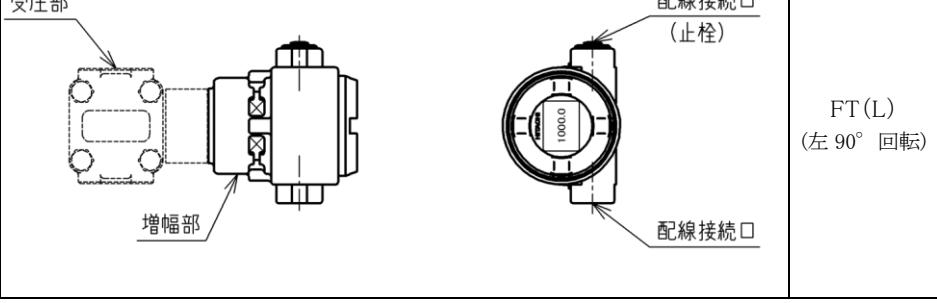
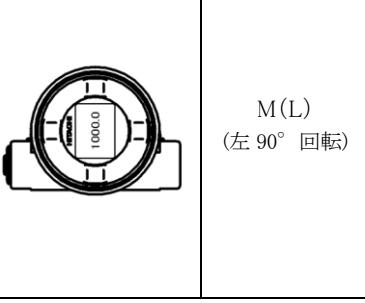
増幅部と内蔵指示計の取付け向き

増幅部形状:側面端子形

増幅部取付図	コード (取付け向き)	内蔵指示計取付図	コード (取付け向き)
	ST (R) (右 90° 回転)		M (R) (右 90° 回転)
	ST (標準)		M (標準)
	ST (L) (左 90° 回転)		M (L) (左 90° 回転)
	ST (U) (180° 回転)		M (U) (180° 回転)

増幅部と内蔵指示計の取付け向き

増幅部形状:正面端子形

増幅部取付図	コード (取付け向き)	内蔵指示計取付図	コード (取付け向き)
	FT (R) (右 90° 回転)		M (R) (右 90° 回転)
	FT (標準)		M (標準)
	FT (L) (左 90° 回転)		M (L) (左 90° 回転)

注) 正面端子形は内蔵指示計の取付け向き 180° 回転は選択不可

コード表

番号	項目	コード	内 容
	形 式	EDR-N8C	インテリジェント温度・圧力補正機能付差圧伝送器
1	レンジコード	800	測定スパン 差圧:0.5~8kPa、圧力:0.2~5MPa abs.、温度:50°C以上 差圧レンジ設定範囲:-8~8kPa
		8000	測定スパン 差圧:2~80kPa、圧力:0.2~5MPa abs.、温度:50°C以上 差圧レンジ設定範囲:-80~80kPa
2	通信方式	-	日立専用通信
		H	HART®通信
3	増幅部形状	ST	側面端子形、取付け向き指定の場合は括弧記載…ST(R):右 90° 回転、ST(L):左 90° 回転、ST(U):180° 回転
		FT	正面端子形、取付け向き指定の場合は括弧記載…ST(R):右 90° 回転、ST(L):左 90° 回転、ST(U):180° 回転
4	調整レンジ	-	差圧レンジ 0~最大レンジで調整、 圧力レンジ 0~5MPa abs.、温度レンジ 0~300°C、基準圧力 0.5MPa abs.、基準温度 50°C。
		C()	括弧内記入の指定レンジで調整(括弧内に調整レンジと単位符号記入) (差圧、圧力、温度の順で必要な項目を記入、記入ない場合は上記- (標準)の調整レンジになります。)
5	防 爆	-	なし
		XC	TIIS 防爆(コード:ST…耐圧油入防爆、コード:FT…耐圧防爆)
		FM	FM 防爆
		ATEX	ATEX 防爆 <small>注)コード:FT は内蔵指示計の選択不可</small>
		IEC	IEC-Ex 防爆 <small>注)コード:FT は内蔵指示計の選択不可</small>
6	内蔵指示計	-	なし
		M	内蔵指示計付、出力表示:0~100% <small>注)コード:FT とコード:M(U)は同時選択不可</small> 取付け向き指定の場合は括弧で指定…M(R):右 90° 回転、M(L):左 90° 回転、M(U):180° 回転
		MJ()	内蔵指示計付、出力表示:括弧内記入の指定実目盛(括弧内に表示目盛と単位符号記入) 取付け向き指定の場合は括弧内に記号で指定…R:右 90° 回転、L:左 90° 回転、U:180° 回転 <small>注)コード:FT とコード:MJ(U)は同時選択不可</small>
7	接液部材質	-	ダイアフラム:SUS316L 本体:SUS316L 本体フランジ:SCS14A
		316L	ダイアフラム:SUS316L 本体:SUS316L 本体フランジ:SCS16A
		HC316	ダイアフラム:ハステロイ C 本体:SUS316L 本体フランジ:SCS14A
		HC316L	ダイアフラム:ハステロイ C 本体:SUS316L 本体フランジ:SCS16A
8	本体フランジ O リング	EPDM	エチレンプロピレンゴム
		FKM	ふつ素ゴム
		PTFE	4 ふつ化エチレン樹脂
9	ボルト・取付板 材質	-	本体フランジ締付ボルト:SCM435 取付板(上下取付用L形):SPCC(ポリウレタン樹脂塗装) U ボルト:SUS304 <small>注)コード:Z31,Z32 指定の場合は本体フランジ締付ボルトの材質指定のみとなります。</small>
		SH660	本体フランジ締付ボルト:SUH660 または相当品 取付板(上下取付用L形):SUS304 U ボルト:SUS304 <small>注)コード:Z31,Z32 指定の場合は本体フランジ締付ボルトの材質指定のみとなります。</small>
		F435	本体フランジ締付ボルト:SCM435 取付板(背面取付用フラット形):SUS304 U ボルト:SUS304 <small>注)コード:Z31,Z32 の選択不可。</small>
		FSH660	本体フランジ締付ボルト:SUH660 または相当品 取付板(背面取付用フラット形):SUS304 U ボルト:SUS304 <small>注)コード:Z31,Z32 の選択不可。</small>
10	接液部禁油	-	処理なし
		NL	禁油仕上げ
		NLW	禁油禁水仕上げ
11	圧力導入口	T0	上側 Rc1/4 オーバルフランジなし
		R2	上側 Rc1/2 オーバルフランジ付
		R4	上側 Rc1/4 オーバルフランジ付
		N2	上側 1/2NPT オーバルフランジ付
		N4	上側 1/4NPT オーバルフランジ付
		B0	下側 Rc1/4 オーバルフランジなし
		BR2	下側 Rc1/2 オーバルフランジ付
		BR4	下側 Rc1/4 オーバルフランジ付
		BN2	下側 1/2NPT オーバルフランジ付
		BN4	下側 1/4NPT オーバルフランジ付
		S2	上側 15A パイプ差込溶接アダプタとオーバルフランジ付
		BS2	下側 15A パイプ差込溶接アダプタとオーバルフランジ付

番号	項目	コード	内 容
12	補正演算 ^(注)	OFF	補正演算 OFF (指定ない場合の初期値)
		TEMP()	温度補正、()内に基準温度を°Cで記入 (初期値:50°C)
		PRESS()	圧力補正、()内に基準圧力を MPa abs.で記入 (初期値:0.5 MPa abs.)
		TP()	温度・圧力補正、()内に基準温度を°C、基準圧力を MPa abs.の順で記入 (初期値:50°C、0.5 MPa abs.)
		STEAM()	飽和蒸気圧補正、()内に基準圧力を MPa abs.で記入 (初期値:0.5 MPa abs.)
13	リプレース用 金具	-	なし
		RD78N8	EDR-75/85 のリプレース用取付板(上下取付用L形) (材質:SUS304) 注)ボルト・取付板コード：“F435、FSH660”の選択不可、“指定なし、SH660”のいずれかを選択してください。 (寸法は別紙 CS・3253-999 リプレースキット参照)
		FRD78N8	EDR-75/85 のリプレース用スペーサ、ボルト(材質:SUS304) (取付板:背面取付用フラット形を併用) 注)ボルト・取付板コード：“指定なし、SH660”の選択不可、“F435、FSH660”のいずれかを選択してください。 (寸法は別紙 CS・3253-999 リプレースキット参照)

注)補正演算の基準温度、基準圧力の指定がない場合は初期値(基準温度:50°C、基準圧力:0.5 MPa abs.)を記載ください。

コード例(1):EDR-N8C-800-ST-C(0 カラ 1.5kPa)-MJ(0 カラ 1000Nm3/h)-HC316-EPDM-BR2-PRESS(0.1013MPaabs)

コード例(2):EDR-N8C-8000-FT-C(0 カラ 30kPa,0 カラ 1.0MPaabs,0 カラ 100 °C)-XC-M-EPDM-NL-T0-OFF

コード例(3):EDR-N8C-8000-FT-C(0 カラ 20kPa,0 カラ 2.5MPaabs,20 カラ 100°C)-XC-MJ(0 カラ 120t/h)-EPDM-SH660-BR2-TP(50 °C,0.5MPaabs)

注)コード間は “ - ” で区切ってください。

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
- 改良のため外観及び仕様の一部を変更することがあります。